

出張講義

キャリア 形成

地域の問題を解決するのは誰だ ～地方公務員だけじゃない働き方～

担当教員:井上 直樹 教授

男女を問わず、最近、公務員は特に人気の高い仕事といわれています。公務員は、国の行政機関などで仕事を考えたり、考えられた仕事を実行する国家公務員、そして、都道府県、市区町村など地方で住民のために働く地方公務員に分けられます。皆さんのなかには「将来、生まれたまちや自分の好きなまちのために、地方公務員として働きたい」という希望をもっている人もいます。この場合、県庁、市役所、町役場などで働く地方公務員をイメージすることが多いのではないのでしょうか。しかし、地方公務員は、病院、学校、水道局などで働く場合もあります。また、まちや地域のために働くのは、地方公務員に限りません。たとえば、まちや地域を越えて、地方において広域的に働く国家公務員もたくさんいます。さらに、公務員だけではなく、企業、NPO、地域コミュニティなど、多くの主体がまちや地域のために働いています。私は、国家公務員、地方公務員、独立行政法人、民間企業などの仕事を経験し、大学の教員になりました。私自身の経験を踏まえ、まちや地域のために働く意味、そして、地域の問題を解決するための働き方を考えていきます。

- 受講人数の目安:特になし(1学年単位も可)
- 所要時間の目安:45分程度
- 高校でご準備いただきたいもの:パソコン、プロジェクタ、接続ケーブル、スクリーン、ワイヤレスマイク